

令和6年度 大豆栽培こよみ

みな穂農業協同組合
黒東地域農業技術者協議会

重点対策

- ①有機物や石灰質資材の積極的施用 ②除草剤と培土で雑草防除 ③的確な中耕培土で根域拡大 ④畦間かん水で英数確保

月	4月		5月			6月			7月			8月			9月			10月							
	中・下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬					
	排水対策(額縁等)・土づくり				播種・出芽期			草丈・節数増加期			開花期			英伸長期			子実肥大期			黄葉期・落葉期			収穫期		

生育のイメージ

〈今年の目標〉

- 一、単収250kg/10a
- 二、大粒比率50%
- 三、3等以上の比率50%

適期刈取の播種期の組み合わせ

早播きは避ける (青立ち・英先熟・英すれ粒防止)

主茎長 5~10cm, 20~25cm, 35~40cm, 65cm

開花期 7/20頃

成熟期 10/9頃

※排水対策の徹底で根粒菌増加を図る!

刈り遅れの防止

刈取適期圃場

排水対策

土壌改良

種子消毒

耕起施肥播種

除草剤

1回目培土

2回目培土

除草剤

畦間かん水 (開花期、晴天が3日以上続くと見込まれる場合)

1回目防除

2回目防除

排水対策

収穫乾燥調製

..... 排水対策

排水対策

土壌改良

種子消毒

耕起施肥播種

除草剤

1回目培土

2回目培土

除草剤

畦間かん水 (開花期、晴天が3日以上続くと見込まれる場合)

1回目防除

2回目防除

排水対策

収穫乾燥調製

1.排水対策

①水口はしっかり止める ②額縁排水溝は早めに設置 ③排水溝は深く掘り下げる

④基幹排水溝は播種後に設置 ⑤排水溝は確実に連結

排水対策の効果

- ・碎土率が上がり発芽・苗立向上
- ・除草剤の効果向上
- ・根量・根粒菌の増加
- ・茎疫病、黒根腐病の発生抑制

3.種子消毒

病害虫防除の種子消毒は必ず実施

使用薬剤	処理方法
クルーザーMAXX	原液8ml/乾燥種子1kg

4.耕起・施肥・播種

・作業速度を落とし低速のロータリー回転で行う
・作土深15cmを目安に深耕する

肥料名	10a当たりの施用量	
	単作	麦後
化成肥料オール14	17~22kg	30~35kg
BB基肥084	25~30kg	40~50kg

5.培土

・土壌が乾いている時、晴れ間をみて早めに実施
・培土の効果高める為、適期に2度行う
・適正な作業速度で株元まで土をかける
・培土後の溝の手直しと排水口への連結

効果

- ・根域の拡大・雑草の抑制
- ・排水の促進・倒伏防止

品種	播種時期	栽培本数(本/10a)	播種量(大粒)(kg/10a)
えんれいのそら	5月6半旬~6月上旬	14,000~16,000	5.2~5.9
	6月中旬	16,000~18,000	5.9~6.7
シュウレイ	5月6半旬~6月上旬	12,000~15,000	4.8~6.0
	6月中旬	15,000~18,000	6.0~7.1
オオツル	6月上旬	10,000~12,000	4.0~4.8
	6月中旬	12,000~14,000	4.8~5.6

6.畦間かん水

・開花期頃から9月上旬までに行い着花不良や落花を防ぎましょう
・圃場全体に水が行き渡ったら水口を止め、速やかに排水する

7.収穫・乾燥・調製

・収穫前に大型雑草や青立ち株の抜取りの徹底
・露がなくなってから刈取りを行う
・刈取りの高さは地際から10cm以上とし、土を捲込まない
※90%以上英が褐色になったら刈取り始め(子実水分22%)
・収穫後は子実水分14%になるように丁寧な乾燥を行う
・丁寧な選別・調製と、清掃徹底で異物混入を防止する

刈取始期	刈取始期
80%	27%
90%	22%

【褐色割合】 【子実水分】

2.土壌改良

収量・品質向上の為、有機物を積極的に施用

資材名	施肥量(10a)
発酵ケイフン	150kg
堆肥	1t

土壌pH6.0~6.5を目標に生育量を確保

資材名	施肥量(10a)
苦土石灰	100kg

除草剤

時期	品名	散布量/10a	使用方法	特記	使用時期	使用回数
播種後	エコトップP乳剤	500ml+水100L	全面土壌散布	畑地一年生雑草	播種後出芽前	1回
	エコトップP細粒剤	4~6kg	全面土壌散布	畑地一年生雑草	播種後出芽前	1回
生育期間中	パワーガイザー液剤	200~300ml+水100L	全面散布	一年生雑草(アサガオ類)発生揃期~2葉期	出芽直前~3葉期	1回
	ナフ乳剤	150~200ml+水100~150L	全面散布	イネ科雑草3~5葉期	収穫30日前まで	1回
	ポルトフロアブル	200~300ml+水50~100L	全面散布	イネ科雑草3~10葉期	収穫30日前まで	1回
	大豆バサグラン液剤	100~150ml+水100L	全面散布	イネ科を除く一年生雑草	大豆2葉期~開花期	1回
ハスタ液剤	300~500ml+水100~150L	畦間処理	雑草生育期	大豆生育期	3回以内	

難防除雑草対策
生育が進むと防除が難しいので発見したら抜取り、除草剤を散布する

アサガオ類

イヌホウズキ

病害虫防除

体系	農薬名	散布量/10a	対象病害虫	散布時期(収穫前日数)	總使用回数	
基本防除	粉剤	トライトレポン粉剤DL	3kg	紫斑病 フタスジヒメハムシ カメムシ類	1回目 8月上旬(14日前まで) 2回目 8月中旬(14日前まで)	2回以内
	液剤	カスケード乳剤	800ml+水25.6L	カメムシ類 ハダニ類	1回目 8月上旬(7日前まで)	2回以内
		プランダム乳剤	800ml+水19.2L	紫斑病	1回目 8月上旬(7日前まで)	2回以内
		トレボンエア	800ml+水6.4L	カメムシ類	2回目 8月下旬(14日前まで)	2回以内
液剤	トライフロアブル	800~1600ml+水6.4~25.6L	紫斑病	2回目 8月下旬(14日前まで)	2回以内	
臨時防除	粉剤	マラソン粉剤3	3kg	アブラムシ・ハダニ類	発生始期(7日前まで)	3回以内

高温の時期が続くとハダニの被害が出ます。収量や品質に影響するので注意!